

## 科学技術イノベーション総合戦略 2 0 1 6 の重点的取組について（素案）

- 第 5 期科学技術基本計画が策定されて初めての総合戦略
- 実効性ある科学技術イノベーション政策の推進に向け、第 5 期科学技術基本計画と総合戦略を一体的に運用
- 科学技術イノベーション総合戦略 2 0 1 6 においては、
  - ・第 5 期科学技術基本計画で新しく掲げた概念である「Society 5.0」を初年度から強力に推進し、我が国の競争力を維持・強化していく
  - ・早急に対処しなければならない若手育成、大学改革を強化し、先行きの見通しが立ちにくい大変革時代において柔軟かつ的確に対応していく
  - ・産学官の本格的連携やベンチャー企業の創出強化を通じ、世界を先導する我が国発のイノベーションが次々と生み出されるシステムの構築を進めていくといった視点を重視していくものとし、それらの視点を踏まえ、以下の 4 つを特に重点を置くべき政策分野として位置付けてはどうか
  - ① Society 5.0 の深化と推進
  - ② 若手をはじめとする人材力の強化
  - ③ 大学改革と資金改革の一体的推進
  - ④ 人材、知、資金の好循環によるオープンイノベーションの推進
- 科学技術イノベーション総合戦略 2 0 1 6 の実行に当たり、総合科学技術・イノベーション会議は司令塔としての機能を強化すべきではないか

## ① Society 5.0 の深化と推進

I C Tを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく。

このような状況の下、総合戦略2016に掲げるべき重点的取組として、以下が考えられるのではないかな。

### 【重点的取組の例】

- ・Society 5.0 の特徴整理（情報社会との違いを分かりやすく整理、一足先を見据えた着手ポイントの明確化（日本の強み、可能性を埋め込む））
  - －サイバー空間とフィジカル空間の融合（モノと情報が飽和、モノ・コトと情報が完全に紐づく）
  - －人間中心（その実現に必要な科学技術、自然科学と人文社会科学の融合の推進）
  - －所有から利用へ（コトの提供）
- ・共通プラットフォームの構築（標準化、セキュリティ）
- ・各分野のシステムの高度化、システム間の連携協調、取り組むべき個別技術
- ・制度上、システム上の隘路の解消（データの利活用の推進）
- ・Society 5.0 の推進（必要となる一歩先の科学技術等の推進、社会受容性の向上）

## ② 若手をはじめとする人材力の強化

科学技術イノベーションを担うのは「人」である。科学技術イノベーション人材の質の向上と能力発揮が一層重要になってきている。

しかし、大学等における若手研究者のキャリアパスが不透明で雇用が不安定な状況にあり、若手研究者が自立的に研究を行う環境も十分に整備されていない。

また、科学技術イノベーション活動を活性化していくためには、女性の活躍が不可欠であるが、我が国の研究者全体に占める女性の割合は増加傾向にあるものの、主要国と比較するとまだまだ低い水準にとどまっている。

さらに、我が国では長期雇用を前提に人材を育成・確保する考え方が基本となっており、分野や組織、セクター等を越えた人材の流動性が高まっていない状況にある。

このような状況の下、総合戦略2016に掲げるべき重点的取組として、以下が考えられるのではないかな。

### 【重点的取組の例】

- ・若手研究者等の活躍促進
- ・女性の活躍促進
- ・分野、組織、セクター等の壁を越えた人材流動化の促進

### ③ 大学改革と資金改革の一体的推進

政府が負担する資金には、運営費交付金等の研究や教育を安定的・継続的に支える基盤的経費と、優れた研究や特定の目的に資する研究などを推進するために配分する公募型資金があるが、これらは共に科学技術イノベーション活動の根幹を支えるものであり、その在り方は研究力や研究成果、組織の運営、人材の配置等に大きな影響を与えるものである。

特に、多くの公的資金が投じられている国立大学については、組織を抜本的に改革し、多様な研究資金を効果的・効率的に活用する環境を整えると同時に、ガバナンスの強化等を促進することで、その機能の強化を図っていく必要がある。

このような状況の下、総合戦略2016に掲げるべき重点的取組として、以下が考えられるのではないかと。

#### 【重点的取組の例】

- ・大学経営の見える化（アカウンティング等）
- ・大学における経営人材の育成・確保、事務局体制の整備
- ・大学等における外部資金の導入促進
- ・大学間等における競争的な環境の整備
- ・大学改革を促すファンディングの推進

### ④ 人材、知、資金の好循環によるオープンイノベーションの推進

イノベーションを結実させるのは主として企業であるが、迅速な社会実装のためには、企業、大学、公的研究機関といった各主体がそれぞれの強みを生かし、その力を補完的に連携・融合させることのできる仕組みを構築していくことが重要である。このため、各主体に対し、オープンイノベーション推進に向けた取組の強化を促すとともに、人材、知、資金の流動性を高め、イノベーションが興りやすい環境を整備する。

また、自らリスクをとって挑戦する企業の意欲を喚起し、多様な挑戦が連鎖的に起こる環境を整備することも重要であり、新規事業につなげるようなイノベーションの創出には、中小・ベンチャー企業の創出強化が不可欠である。しかし、我が国では、優秀な人材が中小・ベンチャー企業を志向しない傾向が強いことなどから、中小・ベンチャー企業によるイノベーションの創出が起きにくい状況にある。

このような状況の下、総合戦略2016に掲げるべき重点的取組として、以下が考えられるのではないかと。

#### 【重点的取組の例】

- ・企業・大学及び公的研究機関等の意識改革やマネジメント体制の見直し
- ・大学の教育、基礎研究から研究成果の社会実装までを視野に入れた長期的ビジョンと、大学の経営課題の共有を前提とした強力な産学連携体制の推進

- ・起業家マインドを持つ人材の裾野拡大、起業やベンチャー企業に対する社会的受容性や地位向上
- ・大企業とベンチャー企業の連携の促進、大学発ベンチャー企業の創出加速
- ・イノベーション創出に貢献し得るベンチャー企業に対する政府調達等を活用した初期需要確保の可能性を検討

➤ 科学技術イノベーションの推進機能の強化

第5期基本計画に位置付けられた政策や施策を効果的かつ柔軟に実行するため、科学技術イノベーション活動の主要な実行主体である大学及び国立研究開発法人の改革と機能強化を図り、大学及び研究開発法人の改革強化を軸とした「イノベーション・ナショナルシステム」の取組を更に深化させる。また、国内外に向けて科学技術イノベーション政策を一体的かつ戦略的に推進する体制を強化する。特に、総合科学技術・イノベーション会議の司令塔機能の強化を図る。

このような状況の下、総合戦略2016に掲げるべき重点的取組として、以下が考えられるのではないかと。

【重点的取組の例】

- ・大学改革と機能強化
- ・国立研究開発法人改革と機能強化
- ・科学技術イノベーション政策の戦略的国際展開
- ・実効性ある科学技術イノベーション政策の推進と司令塔機能の強化
  - － 政府研究開発投資の資源の配分、科学技術関係予算の効率的な活用
  - － 全体俯瞰の上での戦略立案機能の強化、シンクタンク連携の強化